

アルアンダーのトウネツ

北米市場でも現地生産

パイロテックとの提携軸に

トウネツ(静岡県富士

宮市、望月俊二社長は自

社開発の横浸浸型ヒータ

ーを使用した溶解保持炉

「アルアンダー」のグローバ

ル展開の一環として北米

市場の開拓に注力する。

同社は、2011年10月

にパイロテック(米ワシント

ン州スポーケン市、アラン・

ロイCEO)と技術提携し、

同炉の現地製作と保守・

点検体制を整えた。提携

合意の内容は、①パイロテ

ックが北米市場(アメリ

カ、カナダ、メキシコ)向け

に「アルアンダー」と低圧

铸造用二槽式溶解保持炉

の製造販売することを認

め、トウネツがそのための

技術指導と現地築炉工場

への技術者派遣を行う②

トウネツがこれまでに北米

市場で販売した「アルアン

ダー」の保守・点検をパイ

ロテックが行うというもの。

同契約は、アルアンダー

炉を採用する日系企業の

「現地製作・現地調達」の

ニーズに応え、利便性の向

上と国際競争力アップに

貢献するのが狙い。この提

携による昨年12月までの

実績は、10台強となった。

今年も、両社の連携をさら

に強め北米市場での拡販

をめざす。

同社は、グローバル展開

を競合他社に先がけ進め

ており、すでに中国、タイ、

インドの3ヶ国で現地生産

体制を確立済み。中国で

は、広州、大連、重慶の3

地域に生産工場を設けて

いる。

「アルアンダー」のヒー

ターは、すべて溶湯に浸つ

ているため、縦浸漬型ヒー

ター保持炉や上部輻射型

保持炉と比べ熱効率が良い

く、省エネや湯境の酸化物

の減少に大きな効果があ

るため世界のダイカスト

市場で注目されている。